

## NHKが宮崎発地域ドラマ

9月放送 今月、日向市内でロケ

NHK宮崎放送局制作の宮崎発地域ドラマ「ひなた」が9月11日午後10時から、BSプレミアムで放送されることになり、今月中旬から下旬にかけ、ほぼ日向市内でロケが行われることになった。十屋幸平市長が定例記者会見で発表した。

NHK宮崎放送局によると、ドラマは「南国・宮崎×バンド女子×サークル×新感覚の青春」と題して、佐和ちゃん、波に乗り、「マ・ひなた」のようなるさと温かさを持つ一人の女子高生が、もともとは嫌いだったサーフィンとの出会いを通して自分の殻を破り成長していく姿を、爽快感に満ちたタッチで描く」としている。

出演は主人公の女子高生役に池間夏海、その母・佳子（田中）を支え、中学生の弟の面倒も見る方・離婚した父・卓（玉山）は、サーフィン一筋に生きる不器用だけど憎めない男。佐和は父のもとをたまに訪ねては世話を焼いている。そんな穏やかな日常が、弟の起

ラマ！」と銘打ち「サーフィンを題材に、宮崎らしさあふれる青春ドラマ

「ゲド戦記」の寺嶋民哉。

【あらすじ】日向市の十屋市長は「本県の温

暖な気候と豊かな自然環境や人間味豊かな温かい住民との関係の中で、サーフィンを通して成長していく家族との愛を描いた青春ドラマと聞く。地元対応やエキストラの確保など、できる限りの協力をするとともに、これを機会にさらなる情報発信に努めてまいりたい」と述べた。

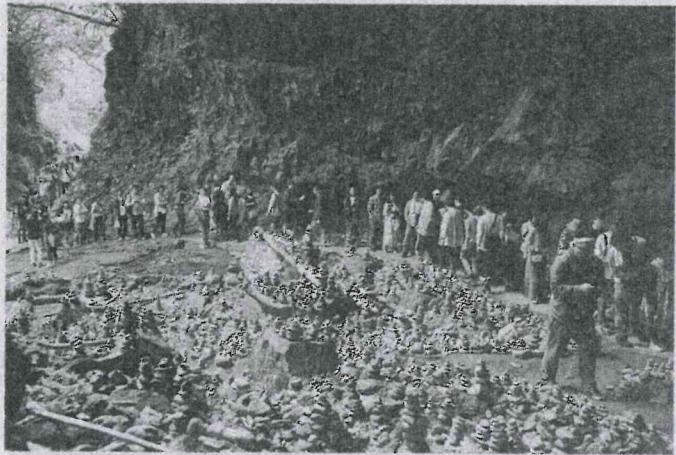
【あらすじ】日向市の細島という小さな港町で暮らす佐和（池間）は、音楽部のバンドでボーカルをしている高校3年生。シングルマザーの母・佳子（田中）を支え、中学生の弟の面倒も見る快活なしっかり者だ。一方、離婚した父・卓（玉山）は、サーフィン一筋に生きる不器用だけど憎めない男。佐和は父のもとをたまに訪ねては世話を焼いている。そんな穏やかな日常が、弟の起

立石ケン、親友に川口ゆりな、主人公の父に玉山鉄二。作は映画「百円の恋」や「嘘八百」の足立紳、音楽は映画「半落ち」

した“事件”によって一時に……。

とに……。

# やっぱり過去最多



連休中は、高千穂町岩戸の天安河原にも長い列。待ち時間は1時間だった

GW期間中の高千穂観光  
10日間に推計15万6360人

高千穂町は8日、ゴールデンウイーク(GW)中の観光客の入り込み状況を発表した。それによると、4月27日~今月6日までの10日間に訪れた観光客は推計で15万6360人で、GW期間中の記録を取り始めた1993年以降、過去最多の観光客数となつた。

過去の数字を4月29日~5月5日の7日間で比較すると、これまでの過去最多だった2015年の12万1160人を1990人上回る12万3150人を記録した。

入り込み状況は、高千穂町の臨時駐車場、高千穂神

社など観光地の駐車場の利用状況、観光施設での食事や購買客といった集客データを基に、町企画観光課が取りまとめた。日ごとに別々の観光客数は

▽30日=1万5920人  
▽5月1日=1万8280人  
0人  
▽2日=2万370人  
▽3日=2万90人  
▽4日=1万8570人  
▽5日=1万3860人  
▽6日=7250人

1。自家用車やレンタカ

千穂町  
企画観光課

1、観光バスなどの車両台数は10日間で5万台だった。

観光客増加の要因について企画観光課は、九州中央道の国道218号高千穂日之影道路「雲海橋交差点」~日之影深角ICや熊本県の「小池高C」の開通、16年に発生した熊本地震からの復旧や復興による交通アクセス向上、海外客の増加、好天気などが好影響したとみている。

GW期間中の観光客は、15年に12万人を突破し、それまでの最多だったが、翌16年は4月あつた熊本地震の影響で4万1330人と前年の半分以下と大幅に減少した。翌17年に9万7740人に回復したものの、昨年は8万8730人と横ばい状態となっていた。企画観光課の担当者は結果について「驚きとうれしさがある。熊本地震以前のレベルまで観光客数が戻って喜ばしい限り。観光客に快適にしてもらえるよう環境の整備などを取り組み、今後も今年と同じ水準を維持していきたい」と話している。

2019.5.9